

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 研究テーマ | 〔想い（発想・想像・構想）を広げ、深めること〕 |
|-------|-------------------------|

稲敷郡美浦村立安中小学校 教諭 中島研一

1 研究テーマについて

アニメのキャラクターなどディフォルメされたイラストを描くのは得意であるが、実物を描こうとすると、「描けない」「どう描いてよいか分からない」と言う児童もいる。そこで実際に描くものをよく観察することから始めて、そのものが持つ感じに気づき、どのように表現するか考えることで技術的な力の向上を図りたいと考えた。写生会では、実際に神社を見ることで、その建物がもつ雰囲気や周りの様子が分かったり、境内・鳥居・建物の奥行きや建物の装飾を詳しく観察して描くことができる。研究テーマである「想いを広げ、深めること」を受けて、児童が被写体をよく観察して描くことができるように、また自分が持った感じを表現できるように支援していきたい。

2 実践例

(1) 題材名 身近な風景

(2) 目標

- ◇ 実際に神社の社殿や周囲の木々から各自雰囲気を感じ取り、自ら描き出す喜びを味わおうとする。 (造形への関心・意欲・態度)
- ◇ 表したい感じに、いろいろな色の絵の具を合わせ、工夫して表そうとする。 (発想や構想の能力)
- ◇ わりばしペンを使った表現や絵の具の混色を工夫して、描きたい景色を水彩画に表現する。 (創造的な技能)
- ◇ 鑑賞会では、自分の思いを語り合ったり、自分や友達の表現のおもしろさや工夫に気づき、認め合う。 (鑑賞の能力)

(3) 題材について

大宮神社は学校の近くにある神社で、陸平貝塚に隣接する。その神社の周りは木々で囲まれていて、歴史的石碑がいくつかある。研究テーマである「想いを広げ、深めること」に関して実際にその建物を写生することで、その建物がもつ雰囲気や周りの様子から、児童一人一人はそれぞれの感じ方を持つことができると思う。また、建物の構図や木々の様子は作品の構図を考える上でいろいろ工夫することができる。そのようなことから適当な活動場所と考えられる。

(4) 指導計画

| 時間          | 学習活動                         | 支援と評価○  |
|-------------|------------------------------|---|
| 1           | わりばしペンを使って、模写を行う。            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・描いた線が長くなっても気にしないで書き続け、全体の雰囲気ができるように励ます。</li> <li>・陰になっている所や木々、細部はどのように描いているか上手な人の絵を参考にする。</li> </ul>  |
| 2<br>本時はその2 | 大宮神社へ行き、描くポイントを決め、わりばしペンで描く。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・神社の敷地を一通り歩き、描くポイントがなかなか決まらない児童に対しては、いくつかよいポイントを紹介する。</li> <li>・梁の部分など、細かいところは例を書いて、角度や奥行きに注意するようにアドバイスする。</li> <li>・大体の輪郭や、木々の場所などは鉛筆で描き、多少の線のずれは気にしないで、わりばしペンで描くように促す。</li> </ul> <p>○描くポイントが決まり、意欲的に描こうとしている。</p> |

|   |                       |  |
|---|-----------------------|--|
| 4 | 絵の具セットを持って行き、色をつけていく。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童自身で感じた色で表現するように助言する。</li> <li>・自分の選んだ構図のおもしろさを楽しみながら表現できるように励ます。</li> <li>・建物や背景の木々を見て色を決めていく。</li> <li>・色を塗るときには薄い色から徐々に濃い色を塗っていくようにアドバイスする。</li> </ul> <p>○大宮神社の雰囲気に対して感想を持ち、構図や着色で表現している。</p> |
| 2 | 教室で細部を描く。             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な角度の写真を用意しておく。</li> <li>・背景が後回しになりがちであるが、そこにも大切な雰囲気があることを助言する。</li> </ul>   |
| 1 | 友達の絵を鑑賞する。            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・色や構成などいろいろな視点があることを話す。</li> </ul> <p>○自分や友達の作品のよさに気づくことができる。</p>   |

(5) 本時の学習

- ◇ 目標  
描くポイントを決め、わりばしペンで描く。
- ◇ 準備・資料  
鉛筆、わりばしペン、墨、画板、折りたたみいす
- ◇ 展開

| 学習活動及び内容   | 教師の関わりと評価  |
|--|--|
| <p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>決めたポイントを、わりばしペンで描こう。</p> </div> <p>2 各自制作をする。</p> <p>「この角度がかっこいいなあ」<br/>「背景の木と手前にある木も描いてみたいなあ」<br/>「屋根の下の部分はどうなっているのかな」</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめからすべてを鉛筆で描くのではなく、画面の大体どの部分に何があるのかがわかる程度でよいことを話す。</li> <li>・梁の部分など、細かいところは例を書いて、角度や奥行きに注意するようにアドバイスする。</li> <li>・大体の輪郭や、木々の場所などは鉛筆で描き、多少の線のずれは気にしないで、わりばしペンで描くように促す。</li> <li>・陰になっていて日の当たる部分と色が違っているところは着色するときでもできることを話し、それでも強く陰にしたいときには、墨で塗りつぶさないようにアドバイスする。</li> <li>・手前にある鳥居と奥にある神社の構成については、鳥居を大きく詳しく描き、神社を遠くの方に小さく描く、そして背景の木々をぼかして描くことで、両方を同時に自然に描けるよう助言する。</li> </ul> <p>○描くポイントが決まり、意欲的に描こうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの表現のよさを見つけ、認め合える雰囲気を作る。</li> </ul> |
| <p>3 近くの友達と作品を見せ合う。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の作品を参考にするなどして、さらに意欲を高められるように助言する。</li> </ul>   |

### 3 研究の成果

#### 成果

同じ建物であっても、描く児童によって色合いが少しずつ変わっていくことが児童同士の鑑賞の場でわかり、一人一人の感じ方や表し方の違いにおもしろさを感じることができた。

写真ではなく、実際にその建物や木々を見ることで、本当はその場にある奥行きや角度によっては見えないもの、温度、雰囲気を感じることができる。そのことで児童はその建物がどのようなものか全体像を想像することができるので、奥行きや高さなどを含めて、自信を持って描くことができた。

社殿を大きく描こうとする児童は、どの角度から描こうと、自分で納得のいくポイントを社殿を回りながらよく探していた。児童によっては鳥居や灯籠、手水舎などを選んで描いていた。自ら描く場所を決めることで、主体的な取り組みが感じられた。また構図を考えると、その社殿をよく観察することで、表現したい想いを深めることができた。



#### 課題

わりばしペンについては、そのよさがあまり生かされなかった。写生会の前にわりばしペンをつかって模写を行ったが、まだ練習不足の感があった。また、後で色をつけることを意識して、薄く塗っていく必要を感じた。

表現の工夫に関しては材料の工夫や構図の工夫が考えられるが、今回は写生なので、見たものとそっくり描こうとするため、色彩や構図の工夫に限られたと思う。活動当初から色の使い方、構図の工夫について十分に学習しておく必要があった。

鑑賞会では、作品のどこがいいのか、どのような感じがしたか、ということその場の感想だけでの発表会になってしまったので、児童一人一人が、友達の作品をよく観察し、自分の言葉で表現し、交流が見られるような鑑賞会にしていきたい。研究テーマである「想いを（発想・想像・構想）を広げ、深めること」を具現化するためには言語活動による鑑賞会が必要であるが、今回のものはまだ十分なものではなかった。